

# ボーダレスホームセキュリティシステム T

## 取扱説明書



ご使用前に、このマニュアルを良くお読み下さい。

改定:2016年5月版

## 目 次

1. 基本セット内容	.....	2
2. 本システムの特徴	.....	2
3. 設定方法	.....	3
4. 設置方法	.....	7
5. 使用方法	.....	9
6. 主な技術パラメータ	.....	10
7. トラブルシューティング	.....	11
8. 設定指示一覧	.....	12
9. 保証書	.....	13

## 1. 基本セット内容

本体(コントロールパネル)



窓・ドアセンサー	空間センサー	リモコン	サイレン
			

・コントロールパネル:1台    ・窓ドアセンサー:1個    ・空間センサー:1個    ・リモコン:2個  
 ・ACアダプター:1個    ・大音量サイレン:1個    ・電話線:1本    ・取扱説明書(保証書含む)

## 2. 本システムの特徴

- ①悪意干渉防止機能が付いており、仮に同じ周波数で本システムに干渉した場合、コントロールパネルは警報を発します。
- ②リモコンでの警戒解除防止機能が付いています。これを利用するとリモコンでの警戒解除が無効になり、コントロールパネルでのみ警戒解除が出来ます。
- ③コントロールパネルには、キーボードが付いています。
- ④防衛区が6カ所あり、全てがコントロールパネル指示灯を持ち、それぞれの防衛区ごとに独立して、警戒パターンや警報延長時間などを設定できます。
- ⑤防衛区を示す音を設定できます。
- ⑥6つの通報先電話番号と2つの警報センター番号を登録出来ます。
- ⑦遠隔から電話を通して警報/警戒解除/監視操作が出来ます。
- ⑧それぞれの防衛区は、28個までの無線センサーとリモコンを登録でき、合計で99個までセンサーを増やせます。
- ⑨センサーが異常を感知すると警報が鳴り、同時に6組の通報先に繰り返し通報し、事前に録音したメッセージを流します。

- ⑩センサーが故障又は、電池が少なくなったとき、指示灯が点灯して異常を知らせます。
- ⑪電話線が断線すると、警報を鳴らすことができます。
- ⑫バッテリー内蔵で、停電時も8時間程度作動します。
- ⑬電話中に警報を発した場合、通話を遮断し、警報を優先します。

#### 《注意事項》

ペースメーカーなどの医療機器をご利用のお客様は、本製品をご使用になる前に、医師等へご確認の上、ご利用ください。

### 3. 設定方法

#### ＊ ＊ 基本機能の設定方法 ＊ ＊

コントロールパネルは多くの機能を持っており、これらの操作はキーボードで数字と記号を入力して行います。設定状態への入り方は以下のとおりです。

- ・コントロールパネルでパスワード(初期設定:1234)を入力し、確認後“#”を押します。すると、“ピ、ピ”と2回音が聞こえ、“HOME”と“AWAY”指示灯が点灯し、設定状態へ入ったことを示します。この状態で各種設定指示が可能になります。

1つの設定指示が完了するごとに“ピ、ピ”と2回音がすると、設定が成功したことを示します。

短く4回“ピピピピ”と鳴った場合は、操作指示がエラーになったことを示します。

- ・編集状態では、“#”を押すと設定状態から退出します。また30秒操作しなかった場合もシステムが設定状態から自動的に退出させます。

継続して設定操作する場合は、再度パスワードを入力して、設定状態に入ります。

#### (1) 警報メッセージの録音

設定状態にあることを確認し、“6”⇒“#”を押します。すぐに録音開始となります。

メッセージは10秒間録音できます。録音完了後、“ピ、ピ”と鳴り、録音状態から自動的に退出します。警報メッセージは簡潔に住所などを録音してください。録音したメッセージを聞く場合は、“6”⇒“\*”を押すと、接続した電話の受話器から録音した音声がかかります。

#### (2) 各センサーの登録

センサーを、ユーザーが指定する防衛区に登録します。

防衛区とは:

ユーザーの都合で各センサーを1～6防衛区番号に設定する事が可能です。

例:玄関を“01”防衛区に、リビングに設置したい各センサーを“02”など好きな番号に設定

各無線センサーやリモコンはそれぞれ異なるIDを持っています。これをコントロールパネルに登録することで、使用可能になります。

(初めからコントロールパネルと同梱されているセンサーはすでに登録してありますので、すぐにご利用いただけます)

#### ① 登録方法(防衛区番号の設定)

**必ず設定状態(パスワード+#で設定状態に入ります)にある事をご確認してください!**

“7”⇒“#”を押すと、警戒指示灯が点灯します。このとき登録したいセンサーを感知させます。

(下記各センサーの感知方法を参照)

“ピ、ピ”音が聞こえたら登録成功です。この場合、登録したセンサーは第1防衛区に登録されます。

もしその他の防衛区に登録したい場合は、“7”⇒“#”⇒2桁の防衛区番号⇒“#”を入力します。すると対応する防衛区ランプが点灯しますので、この時が登録状態に入ったことを示します。この状態で登録したいセンサーを感知させます。1つの防衛区に28個のセンサーを登録できます。ただしセンサー合計で99個が上限となります。

**30 秒間**操作しないと自動的に登録状態から退出します。

### ※センサーの感知方法

(空間センサーは感知部に手をかざす、リモコンはどれかボタンを押す、窓・ドアセンサーは、一度接触して離します。)

### ②登録状態からの退出方法

登録状態で、“#”ボタンを押します。“ピ、ピ”音が聞こえ、登録状態から退出します。

### ③登録の削除

“7”⇒“\*”を押すと、2回“ピ”音が聞こえます。センサー全部の登録情報が削除されます。

## (3) 通報先電話番号の設定

例: 最初の通報先を0312345678に登録する場合

・プログラムパスワード(1234)⇒“#”で設定状態に入ります。

・“3”⇒“1”⇒“\*”⇒“0312345678”⇒“#”を押すと、“ピ、ピ”と鳴り、最初の番号の設定が成功したことを示します。

・プログラム状態に戻るには、“#”を押します。

2番目の通報先は、“3”⇒“2”⇒“\*”⇒“電話番号”⇒“#”

3番目の通報先は、“3”⇒“3”⇒“\*”⇒“電話番号”⇒“#”

4番目の通報先は、“3”⇒“4”⇒“\*”⇒“電話番号”⇒“#”

5番目の通報先は、“3”⇒“5”⇒“\*”⇒“電話番号”⇒“#”

6番目の通報先は、“3”⇒“6”⇒“\*”⇒“電話番号”⇒“#”

※登録した電話番号の削除方法

例: 4番目の電話番号を削除する場合 “3”⇒“4”⇒“\*”⇒“#”

## (4) パスワード変更

このパスワードは遠隔操作時にも利用します。

設定方法: 設定状態で “10”⇒“\*”⇒“4桁のパスワード”⇒“#”

以上の設定が基本機能の設定です。以下に、特殊機能設定方法を記載します。

### \*\* 特殊機能の設定方法 \*\*

## (5) 防衛区類型設定

これは、探知器の場所と機能を設定します。個々の防衛区に異なる防衛区類型を設定できます。設定しない場合は、全ての防衛区が初期設定の即時防衛区になります。

設定方法:設定状態で、“\*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“2”⇒“X”⇒“#”

Xのところには、防衛区類型として以下の項目から選択します。

- 1—即時防衛区(異常を感知したらすぐ警報を発します)
- 2—遅れ防衛区(異常を感知したら30秒後に警報を発します)
- 3—緊急防衛区(警戒/解除状態にかかわらず警報を発します)
- 5—在宅防衛区(在宅警戒時には作動しません)
- 0—停止防衛区(警報を発しません)

例:第2防衛区を在宅防衛区に設定する場合

“\*”⇒“02”⇒“2”⇒“5”⇒“#”

※参考:通常、ドアや窓、ベランダなどの位置のセンサーは“即時防衛区”に設定します。これらは、どの警戒パターンでも作動します。室内などに設置する空間センサーは、“在宅防衛区”に設定します。リモコンや、玄関扉に設置する窓・ドアセンサーなどは“遅れ防衛区”に登録します。外出時や帰宅時に誤ってセンサーを作動したときなど、30秒以内にパスワードを入力して警戒を解除できます。

## (6) 防衛区提示音の設定

防衛区の提示音を許可した場合、警戒解除状態でセンサーが感知すると、“ピ、ピ、ピ”と音が3回鳴ります。通常、玄関扉や門扉に提示音を使います。それらの扉が開くとユーザーが警戒をすることが出来、誰かがこっそり外出・侵入するのが分かります。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: 設定状態で “\*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“71”⇒“#”

“OFF”する場合: 設定状態で “\*”⇒“2桁の防衛区番号”⇒“70”⇒“#”

## (7) 悪意干渉防止機能の設定

この項目を許可すると、悪意を持った人が警戒時に本システムと同じ周波数で無線干渉した場合、警報を発します。通報は行いません。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: 設定状態で “17”⇒\*“⇒”1“⇒”#“

“OFF”にする場合: 設定状態で “17”⇒\*“⇒”0“⇒”#“

## (8) リモコンによる解除機能の設定

この機能は、悪意を持った人がリモコンのコードを盗み、それで本システムを遠隔から警戒解除する危険を防止する物です。これを設定すると警戒解除は、コントロールパネルでのみ行えます。(コントロールパネルでの警戒解除方法:パスワード4桁⇒解除ボタン)。

設定方法:

この機能を“ON”にする場合: 設定状態で “18”⇒\*“⇒”1“⇒”#“

“OFF”にする場合: 設定状態で “18”⇒\*“⇒”0“⇒”#“

### (9) 電話線故障警報の設定

本システムは、電話線に障害又は断線があったとき、警報するかを選択できます。

警報した場合は、外出警戒時はサイレンが30秒鳴り、在宅警戒時と警戒解除時は、10秒ごとに“ピ、ピ、ピ”と3回音が鳴ります。

設定方法:この機能を“ON”にする場合:設定状態:“22”⇒“\*”⇒“1”⇒“#”

“OFF”にする場合:設定状態:“22”⇒“\*”⇒“0”⇒“#”

(10) 遠隔操作時の呼鈴回数の設定  
本システムは、遠隔操作機能を持っていますが、遠隔操作をする場合外部からコントロールパネルが接続している電話に電話を掛けます。このとき、何回電話がコールしたらコントロールパネルに繋がるかを設定することが出来ます。

設定方法:設定状態:“12”⇒“\*”⇒“XX”⇒“#”

※XX:00-12 の範囲で設定。00 を入力すると遠隔操作が禁止され、異常が発生した場合も外部へ通報できません。

### (11) サイレン鳴動時間の設定

本システムは、警報時にサイレンの鳴る時間を分単位で任意に設定できます。

設定方法:設定状態:“29”⇒“\*”⇒“XX”⇒“#”

※XX:00-30 の範囲で設定。単位は分。

### (12) 警戒/警戒解除設定時のサイレン鳴動の設定

本システムは、初期設定で警戒設定/警戒解除時に“ビー”とサイレンが1回鳴るよう設定されています。この設定をオフにする場合は、下記の操作を行います。

設定方法:この機能を“OFF”にする場合:設定状態 “8”⇒“\*”

“ON”にする場合:設定状態“8”⇒“#”

### (13) 設定の初期化

本システムの設定を工場出荷状態に戻します。リセットされるのは、登録情報や設定情報、パスワードです。設定状態に入り下記の操作を行います。

設定方法:“設定状態で “0000”⇒“#”

### (14) 時計の設定

ADJ (調整): 数値を変えるために時間と日付を切り替えます。

SET: 日時の設定に入る/退出します。

#### 《手順》

先が細くとがった針などを使用し、以下のステップに従ってください。

“SET”を 2 回押し、月を設定します。数値を変更するために“ADJ”を押します。その後、再度“SET”を押し、日時の設定を行います。設定が終わった後、“SET”と“ADJ”を1回押すと終了します。

## 4. 設置方法

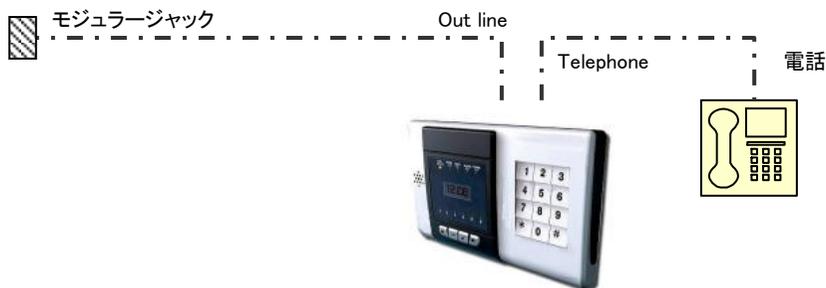
注意:まず各センサーの登録を行ってから、設置を行ってください。

### (1)コントロールパネルの設置

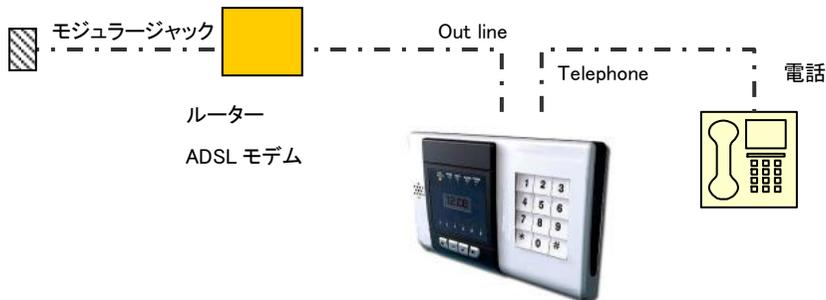
- ①コントロールパネルとお使いの電話を接続します。まず付属の電話線で、お使いの電話器とコントロールパネル背面の“telephone”を接続します。壁のモジュラージャックからの電話線を”out line”に接続します。電話とコントロールパネルは必ず接続してください。電話は通常通り使用できます。
- ②付属のサイレンを“siren”へ接続します。
- ③付属のACアダプターを“power”へ接続し、電源をコンセントに挿します。

背面のスイッチを ON にするとコントロールパネルは、1 回“ピー”と鳴り、コントロールパネルが正常に動作していることを示します。

#### 《一般電話回線の場合》



#### 《ひかり回線及び ADSL の場合》



ユーザーが通報先電話番号の登録をしないと、30 秒ごとに“ピー、ピー”と音が鳴ります。これは設定忘れを防ぐための機能です。通報先番号を設定するとこの音は止まります。

リモコンの解除ボタン (disarm)  を押すと、コントロールパネルは警戒解除状態になります。この後付属のセンサーの登録を行います。

#### 各機能ランプの状態

- ・外出警戒モード: “AWAY”ランプが ON
- ・在宅警戒モード: “HOME”ランプが ON
- ・警戒解除モード: “HOME” “AWAY”ランプが点いていない。
- ・設定モード: “HOME” “AWAY”ランプが点灯。

・警報モード：“ALARM”ライブが ON

### ※注意事項：

- ①最も広く無線受信距離が得られるよう、コントロールパネルは、警戒範囲の真ん中に設置してください。また、電源コンセントと電話線の近くに設置してください。
- ②コントロールパネルは、大きな金属体から離して設置してください。無線の受信距離が短くなる場合があります。
- ③電話線との接続は、電話より前(モジュージャックに近い方)に接続します。ADSL セパレータ又はISDNをご利用の場合はセパレータ(ターミナルアダプター)の出口と接続します。
- ④コントロールパネルは、出来るだけ目に付かない場所に設置してください。

### (2)窓・ドアセンサーの設置

内蔵のマグネットが、窓やドアの開閉に反応します。マグネット部と送信器を別々にドアとドアフレームに付属の両面テープで貼ります。(確実に固定する場合は、木ねじでの固定をお勧めいたします)

- ・通常マグネット部を開閉する側、送信器を固定側に設置します。
- ・マグネット部は、送信器のランプの近くに並べて固定します。
- ・磁石と送信器の間隔は 10mm 以下にしてください。
- ・最適の送信状態を得るためにアンテナを引き出してください。
- ・表示灯が常時点いている場合は、電池容量が低くなったのを示します。この場合、速やかに電池を交換してください。
- ・オプションでマグネット部を薄型マグネットに変更することが可能です。



マグネット



送信器



電池交換

### (3)空間センサーの設置

空間センサーは、人体の動きを感知します。付属のブラケットを空間センサーへ取り付け、壁面正面を警戒ゾーンへ向け、壁の高さ 2.0-2.2m に設置し、角度を調整してください。

#### 【注意】

- ・空間センサーは、縦の動きよりも人の横の動きにより敏感に反応します。そのため、探知器を人の動きに対して垂直に設置した方が良いでしょう。
- ・誤報を避けるため、窓やエアコンなど温度が変化するところへは向けないでください。
- ・探知エリアに大きい障害物を置かないで下さい。

- ・空間センサーの赤いランプが点灯したときは、電池切れを表します。その場合出来るだけ早く電池を交換してください。
- ・設置のときは、落としたりしないよう十分に注意してください。



## 5. 使用方法

### (1) 外出警戒

リモコンの  ボタンを押す、又はコントロールパネルの”AWAY“ボタンを2秒長押しすると、30秒後に”ピー“と鳴り、”AWAY“の指示灯が点灯し外出警戒状態に入ります。

また、リモコンの  ボタンを押した後、すぐに  ボタンを押すと、本システムはすぐに外出警戒状態に入ります。

### (2) 在宅警戒

リモコンの  ボタンを押す、又はコントロールパネルの”HOME“ボタンを2秒長押しすると、“ピー”という音が聞こえて”HOME“指示灯が点灯し、在宅警戒状態に入ります。この状態では、在宅防衛区に登録したセンサーは作動しません。

### (3) 警戒解除

リモコンの  ボタンを押す、又はコントロールパネルで“パスワード”⇒”DISARM“ボタンを押すと警戒解除されます。

### (4) 緊急警報

緊急時には、リモコンの  ボタンを押す、又はコントロールパネル上の“PANIC”ボタンを押すと、システムは緊急警報を発します。

### (5) 警報発生と受信処理

警報が発生すると、サイレンが鳴り、コントロールパネルでは警報指示灯が点灯し、対応する防衛区の指示灯が点灯します。同時に本システムに登録された電話番号へ自動的に繰り返し通報します。ユーザーが通報を受けると、録音メッセージが流れます。この後下記のような遠隔操作が可能になります。

“\*”を押す：30秒現場の音声を聞きます。

“#”を押す：警報信号を確認し、コントロールパネルは警報を停止します。

※“#”ボタンが押されなかった場合、本システムは、次の通報先へ繰り返し通報します。

### (6) 遠隔操作

ユーザーは、遠隔地からコントロールパネルが接続した電話に電話をかけると、設定した呼び

出し回数(初期設定は8回)の後、コントロールパネルに接続します。

この時、パスワード(1234)⇒“#”を入力します。パスワードが間違っている場合、“ピ、ピ、ピ、ピ”と4回音が聞こえます。パスワードが正しければ、“ピ、ピ”と2回音が聞こえます。その後、下記のような遠隔操作が可能になります。

“1”を押す:警戒設定

“2”を押す:警戒解除

“\*”を押す:現場の音声を30秒間く

“#”を押す:退出します。

注:パスワードの入力を3回間違うか、20秒間何も操作されなかった場合は、自動的に通信が切断されます。

## 6. 技術パラメータ

### (1)コントロールパネル

- ・電源:DC 9-12V(バッテリー内蔵) ・静態電流:50mA以下、警報電流:300mA以下
- ・無線周波数:315MHz±0.5MHz ・外付けサイレン音量:110dB
- ・動作環境:温度 -10°C~+40°C、湿度 90%以下 ・無線センサー最大登録数:99個

### (2)窓・ドアセンサー

- ・電源:DC12V ・静態電流:20μA以下 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で20m ・マグネット作動距離:最大15mm
- ・動作環境:温度 -10°C~+40°C、湿度 90%以下

### (3)空間センサー

- ・電源:DC9V ・静態電流:100μA以下 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で20m ・マグネット作動距離:最大15mm
- ・探知可能速度:0.3-3m/s ・探知角度:水平110° 垂直60°
- ・動作環境:温度 -10°C~+40°C、湿度 90%以下

### (4)リモコン

- ・電源:DC12V ・静態電流:0 ・発射周波数:315MHz±0.5MHz
- ・無線有効距離:障害が無い状態で20m
- ・動作環境:温度 -10°C~+40°C、湿度 90%以下

## 7. トラブルシューティング

現象	考えられる原因	解決方法
通報できない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防衛区が設定されていない</li> <li>2. 防衛区設定後、1分経過していない</li> <li>3. 通報先電話番号の設定が間違っている</li> <li>4. 窓・ドアセンサーの送信器と磁石の距離が離れすぎている</li> <li>5. 空間センサーのスイッチが入っていない</li> <li>6. センサーが登録されていない</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防衛区を設定する。</li> <li>2. 1分経過してから操作する</li> <li>3. 取扱説明書に従い、再度通報先電話番号を登録する</li> <li>4. 窓・ドアセンサーを調整する</li> <li>5. 空間センサーのスイッチを入れる</li> <li>6. センサーを登録する。</li> </ol>
警報時に通報しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電話番号の登録が間違っている</li> <li>2. 電話線に問題がある</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電話番号を再度設定する</li> <li>2. 電話線を確認する</li> </ol>
リモコン操作距離が近いのに指示灯が暗い	電池切れ	電池を交換する
窓・ドアセンサーと空間センサーの指示灯が常時点灯	電池切れ	電池を交換する
遠隔での警戒/警戒解除操作が出来ない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パスワードが間違っている</li> <li>2. 遠隔操作が禁止されている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. パスワードを設定しなおす</li> <li>2. 遠隔操作を許可する</li> </ol>
警報メッセージ再生中に * ボタンを押しても現場の音声は聞けない。	メッセージ録音音量が大きすぎる	録音音量を調整する。
リモコンで警戒解除が出来ない	解除機能が無効になっている	解除機能を許可する
コントロールパネルが警報信号や遠隔操作信号を受信しない	センサーが登録されていない。	センサーの登録を確認する
警戒解除をしても警報が止まらない。	通報先電話番号が登録されていない。	通報先電話番号を最低 1 件登録する。
警戒/解除などをする度にサイレンが鳴る。	警戒/警戒解除設定時にサイレン鳴動が設定されている(初期設定)	P7 を参照し、サイレン鳴動の設定をオフにする。
誤動作を停止する	—	リモコンの解除  ボタンを押す

## 8. 設定指示一覧表

内 容	指 示	パラメータの説明	初期値
メッセージ録音	6#		
メッセージ再生	6*		
センサー登録	7#XX#	XX=2桁防衛区番号(01~99)	01
センサー削除	7*XX#	XX=2桁防衛区番号(01~99)	
通報先電話番号1	31*電話番号#		
通報先電話番号2	32*電話番号#		
通報先電話番号3	33*電話番号#		
通報先電話番号4	34*電話番号#		
通報先電話番号5	35*電話番号#		
通報先電話番号6	36*電話番号#		
通報センター番号1	38*電話番号#		
通報センター番号1	39*電話番号#		
パスワード	10*暗証番号#		1234
防衛区類型	*防衛区番号2X#	X=1:即時、2:遅れ、3:緊急、5:在宅、0:停止	即時
防衛区警報	*防衛区番号7X#	1:許可、0:禁止	禁止
悪意干渉防止	17*X#	X= 1:ON、0:OFF	許可
リモコン解除機能	18*X#	X= 1:ON、0:OFF	禁止
電話線故障警報	22*X#	X= 1:ON、0:OFF	許可
遠隔呼鈴回数	12*XX#	XX=範囲00-12、00遠隔操作禁止	08
サイレン鳴動時間	29*XX#	XX=範囲00-30分	01
警戒時のサイレン	ON:8#、OFF:8*		ON
ユーザーID	11*4桁数字#		0001
サブID	09*AA#		01
リセット	0000#		
防衛区提示音	*防衛区番号XX#	XX=71 ON XX=70 OFF	OFF

## 9.保証書

### 〔保証規定〕

1. 本製品が万一自然故障した場合は、保証規定により1年間無料修理いたします。  
なお、弊社まで送付される場合の送料及び諸掛りはお客様にご負担願います。
2. 保証期間開始日は、弊社より発送した日とします。
3. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
  - (1) 使用上の誤り(取扱説明書以外の誤操作等)により生じた故障。
  - (2) お客様ご自身による修理、改造、分解等による故障
  - (3) 火災、天災、地変、落雷、異常電圧当による故障。
  - (4) 浸水、落下、泥、砂等により生じた故障。
  - (5) 保管上の不備や、手入れの不備による故障。
  - (6) 本保証書の添付が無い場合。
  - (7) 故障の原因が本製品以外の部分である場合、またはその他の機器(例えば電源等)によって生じた修理。
  - (8) 消耗部品の損耗交換の場合の部品代および付属品類。
  - (9) 電池などの消耗に起因する故障
  - (10) 海外で使用した場合の故障
4. 本製品は、盗難の防止を保証するものではありません。そのため本製品の故障または使用によって生じた直接及び間接の損害について弊社は一切の責任を負いません。

### 〔ご注意〕

1. 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理についてはお客様にご負担いただきます。

### 〔保証書取扱上のご注意〕

1. 本保証書は、紛失されましても再発行いたしませんので大切に保管してください。
2. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

《型番》BHS-001A	《品名》ボーダレスホームセキュリティT
《販売店》	《お客様情報》
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 4-54-16 401	・ご住所:
<b>株式会社 ボーダレス</b> TEL:03-5662-0787	
《販売日》	・電話番号